

# 在宅医療・介護連携 拠点センターがオープン

地域包括ケアシステム推進室 ☎(94)2162

市では、高齢者の皆さんの暮らしを地域住民や関係機関などが連携して支える「地域包括ケアシステム」の一環として、「須賀川市在宅医療・介護連携拠点センター」(以下、「拠点センター」)を設置し、在宅医療・介護に関する相談支援に取り組みます。

医療や介護に関する相談を受けます。

## 相談できること

- ▼自宅療養するときに必要な医療・介護サービスについてほしい。
- ▼自宅に訪問して診察してくれる医療機関(診療所・歯科診療所など)を教えてください。
- ▼自宅に訪問して服薬指導してくれる薬局を教えてください。
- ▼訪問看護・訪問介護をしてほしい。
- ▼訪問看護・訪問介護をしてほしい。
- ▼訪問看護・訪問介護をしてほしい。

## 相談や情報提供で在宅療養を支援

拠点センターは、高齢者が安心して在宅療養を支えるため、情報提供、支援、調整、助言などを行う相談窓口です。高齢者本人や介護する家族などが、在宅療養するときの不安や疑問などをはじめ、医療・介護関係者からの在宅

士などの資格を持った相談員が対応します。

なお、相談者の個人情報、適切に取り扱います。また、調整を行う過程で関係機関などに個人情報を提供する場合、あらかじめ相談者の同意

## まずは地域包括支援センターに相談を

在宅療養している高齢者やその家族の人は、高齢者の身



須賀川市在宅医療・介護連携拠点センター開所式・7月19日  
(左から細井薬剤師会長、大倉市議会副議長、橋本市長、高橋医師会長、田代歯科医師会長)

### ● 地域包括支援センター連絡先

| 地区        | センター名           | 電話番号     |
|-----------|-----------------|----------|
| 須賀川・浜田    | 中央地域包括支援センター    | (88)8215 |
| 西袋・稲田・仁井田 | 西部地域包括支援センター    | (75)3222 |
| 小塩江・大東    | 東部地域包括支援センター    | (79)1551 |
| 長沼・岩瀬     | 長沼・岩瀬地域包括支援センター | (67)3113 |

## 医療・介護マップもご利用ください

高齢者の「在宅医療」や「在宅医療支援」に取り組む市内の病院・診療所・歯科診療所・薬局・介護サービス事業所などを市ホームページに掲載していますので、ぜひご利用ください。

### ● 拠点センター連絡先

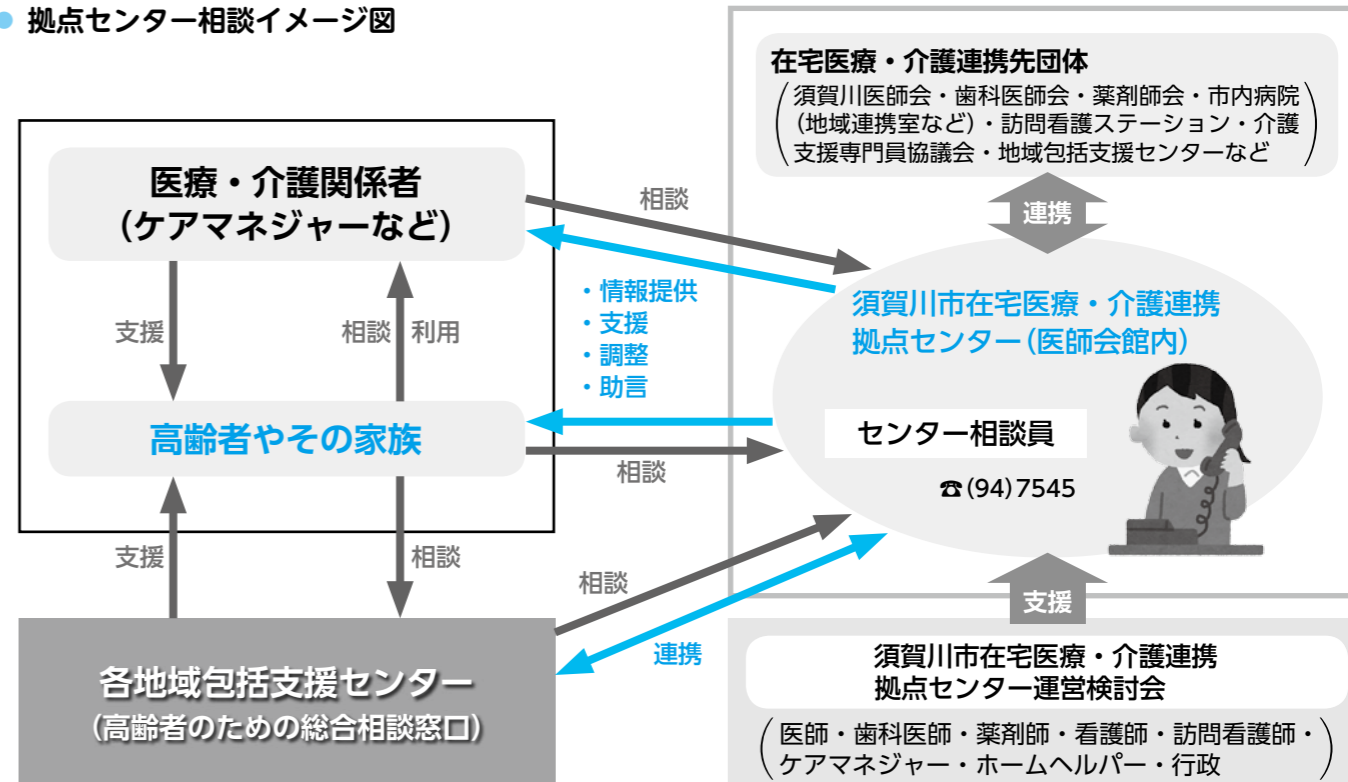
|         |                                |
|---------|--------------------------------|
| 住所      | 市内弘法坦19番地 須賀川医師会館内             |
| 相談受付日   | 月・水・金曜日(祝日、年末年始を除く)            |
| 受付時間    | 午前10時～午後5時                     |
| 電話番号    | (94)7545                       |
| FAX番号   | (94)7872                       |
| メールアドレス | kyoten_sukagawa@vega.ocn.ne.jp |

## 経験豊富な相談員が対応

相談は、看護師、社会福祉

※依頼票は、公民館や地域包括支援センター(左ページの表に備え付け、または、ホームページからダウンロード

### ● 拠点センター相談イメージ図



### 一 福島空港関連ニュース① 一 沖縄とのさらなる交流に向けて連絡会発足



挨拶をする渡邊会頭

7月20日に沖縄県庁で、福島空港と沖縄を結ぶ定期路線復活に向けた福島・沖縄両県による民間連携組織「うつくしま・ちゅらしま交流・福島空港利用促進連絡会」の設立総会が開かれ、石井副市長らが出席しました。

会長には須賀川商工会議所の渡邊会頭が就任し、「定期便再開は県民にとって悲願であり、両県の交流を加速させたい」と思いを述べました。

今後は、チャーター便の運航をはじめ、青少年、産業交流を推進し、相互で取り組みを進めていきます。

### 一 福島空港関連ニュース② 一 台湾チャーター便を今秋から増便



握手を交わす曾社長(左)と島副知事

7月12～15日、福島県副知事を団長に、福島空港発着の台湾へのチャーター便を利用した「台湾トップセールス」が行われました。本市からは橋本市長が参加し、チャーター便を運航している遠東航空や台湾交通部観光局、台湾観光協会などを訪問しました。

遠東航空本社で、島副知事が継続的なチャーター便の運航などを要望し、曾社長より11月から来年3月まで、14本56便の増便計画が示されました。将来的には定期路線の開設を見据え、台湾と福島の相互交流が期待されます。